

だんぼ通信

110号

令和8年1月15日

報告

太宰府市災害対応ワークショップ 「そのとき、太宰府に何が起こる？」

令和7年10月18日(土)プラム・カルコアにて、NPO法人チャルカ・ジャパンの山辺悦弘氏を講師に迎え、市民や行政など様々な主体の方々とともに防災について学ぶワークショップを行いました。

今回は

『1月1日に警固断層直下で震度7の地震発生』

というテーマのもと「市民」「自治会」「社協」「行政」などの皆さんのが、それぞれの立場で課題に向き合い様々な意見を出し合いました。



	第1部「太宰府市全体の課題を整理」	第2部「校区ごとに考えられる課題」
課題 (抜粋)	家族の安否確認、停電・通信遮断時の対応、観光客・流動人口の避難、外国人対応、渋滞、物流がストップなど	避難所自体の安全性、交通経路、断層上なので対策必要、ため池、土砂崩れ、要支援者の避難、地縁の大切さなど

これから自分にできる事は何なのか、自助・共助・公助それが災害時に担う役割は何なのか、などを考える良い機会となりました。

次回は、「避難生活を模擬体験してみよう」というテーマで1月17日(土)に行います。



参加者の感想

自主防災組織の強化に加えて
独居者・転入者への対策も必要

緊急時のパニックを防ぐために日頃から
関心の薄い住民を引きつける努力

日ごろから地域の
お付き合いが大切

継続して何度も話し合い
行動・経験・訓練の繰り返しが重要

個人情報という制限があり
「共助」の難しさがある

報告

うめさろんマルシェ inキャンパスフェスタ を実施しました

令和7年11月29日(土)

太宰府市いきいき情報センター全体を使って行われる「キャンパスフェスタ」は、太宰府市内にある大学と高校が一緒になって開催されるイベントです。参加校は九州情報大学・筑紫女学園大学・日本経済大学・福岡こども短期大学・福岡女子短期大学・太宰府高校・筑紫台高校・筑陽学園高校・福岡農業高校の9校！太宰府市は面積では決して大きいとは言えないまちですが、こんなにも学び舎があるなんて、さすが菅原道真公のお膝元です。

うめさろんは、キャンパスフェスタの中で今年初めて「うめさろんマルシェ」を開催させていただきました。うめさろんやボランティア団体さんの活動を知ってもらうきっかけになれば…と願って。準備の時間があまり取れず、一部のボランティア団体さんへの声かけとなってしまったのは残念でした。次回は、もっと多くの団体さんへ呼びかけたいと思います。

うめさろんブース



うめさろんのブースでは、政庁まつりで大人気だったちゅうちんやランタンづくりワークショップと、ボランティア体験としてリサイクル封筒づくりを行いました。

ちゅうちん・ランタンの土台やエコ封筒の型抜きは、ボランティアさんが事前に作ってくださったもの。いつもありがとうございます。

封筒は、無地のリサイクル封筒を貼り合わせ、きれいな切り抜き折紙を貼って完成です。参加してくれた子ども達の好きな色や、好きな物、熱意がわかる作品がたくさん出来ました。中には、子どもさんが作っているものを見て、保護者の方も「自分も作っていいですか」と子どもさんより熱中し楽しまれるほほえましい姿も見られました。エコ封筒作りの楽しさが伝わってくれたかなと思っています。



認定NPO法人日本セラピューティック・ケア協会ブース



セラピューティック・ケアとは、英國赤十字社公認の心のケアで、首や肩、腕、脚などを洋服の上から優しくなで手のぬくもりで心身を癒す手あて。フェスタ当日は、穏やかな雰囲気の中、スタッフの方に手あてをしてもらい優しい気持ちになれる素敵なお手あてでした。

ほほほーん SDGs 古本市実行委員会ブース

読み終わった大切な本を次の手に渡すぐるぐる回そうSDGs 古本市を年2回開催されていますが、今回特別に参加して下さいました。それぞれ好きな本を探す親子や本を手に取りパラパラとめくる方など老若男女問わず立ち止まって楽しまれています。

販売していた可愛い手づくりブローチの刺繡の繊細さにビックリでした。



Wine House やまつづら・・・・・・・・・・・・



筑紫女学園大学の学生たちが運営するワインショップ。

今回はキャンパスフェスタ内の筑紫女学園大学ブースで、オーガニックぶどうジュースを販売。

来場者の方々に商品やショップの取り組み、日頃の活動について紹介しながら、終始和やかな雰囲気で交流がおこなわれていました。

報告 協働わーくすエ・コラボさん 表彰！

令和7年12月23日、福岡県庁にて『福岡県障がい者差別解消推進功績者表彰』の授賞式が執り行われ「協働わーくすエ・コラボ」さんが表彰されました。おめでとうございます！

協働わーくすエ・コラボさんは、障がいのある人と地域住民が一緒に取り組む資源回収活動(平成18年～令和3年)を続けてこられました。

さらに、障がいのある子どもの親や住民が語り合う「エ・コラボカフェ」(平成21年～)を定期的に開催し、地域での交流を継続的に創出してこられました。

穏やかに一步一步を大切に活動される、協働わーくすエ・コラボさん。これからもぜひ応援させてください。



資源回収の様子



左から、福祉課課長、エ・コラボの田畠さん、服部県知事、エ・コラボの末田さん、渡辺県議

報告 フジタ道路さん ありがとうございます



フジタ道路株式会社(九州支店)さんは、博多区にある会社で、主に道路や空港の舗装、公園・レジャー施設の設計・施工をされている会社です。

会社の地域貢献活動ということで、昨年から使用済み封筒や切手などを持参してくださっていますが、今回はサツマイモをひと箱ご寄付下さいました。



今年1月に実施予定の子ども食堂団体さんにお届けいたします。
いつも、ありがとうございます！

太宰府市市民活動サポートセンター うめさらん

太宰府市五条3丁目1番1号 いきいき情報センター 2階

平日 10:00～18:00 第2・第4 土曜日 12:00～18:00

(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、第1・3・5土曜日)

8月13日～15日、12月28日～1月4日)

TEL 092-918-3633 FAX 092-918-3644

MAIL dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

H P <http://umesalon.sakura.ne.jp/>



ホームページ



メール